

懇談会(第3回)の論点

※斜字は北海道局が別途行った有識者ヒアリングでのご意見

1. 開発計画の振り返りや長期的視点から考える国の課題解決のための北海道の役割や将来像

- ・北海道開発に対しては、我が国の課題解決への貢献として、国民経済の復興と人口問題の解決から始まり、日本の食料供給基地、エネルギー安定供給、産業拠点の開発・成長期待産業の育成、観光・保養拠点、望ましい社会の実現に係る先駆的役割などが期待されてきた。
- ・これらを振り返り、また北海道や日本における人口急減・超高齢化、気候変動の影響や大規模災害の発生予測、グローバル化などの長期的な潮流を踏まえ、我が国の課題解決に貢献する北海道の役割や将来像をどう考えるか。新たに提案できる役割や将来像はあるか。

① 食料供給

- ・農業生産力を支える、基盤整備や河川事業が進められ、北海道は日本の食料供給基地の役割を果たしてきた。農業の構造改革が我が国の課題となる中、北海道はどのような役割を果たしていくべきか。

(有識者のご意見)

- ・我が国の食糧自給率を維持・向上させる上で、北海道が中心的な役割を担うことは変わらない。
- ・農業政策が大きな転換期にあり、北海道農業も転機。米政策の見直しは北海道にも非常に大きな影響を与える。TPPは畑作と酪農に大きな影響がある。
- ・人口減少による食マーケットの縮小や労働力の問題、また、人の生き方・社会構造の変化にかかわる食スタイルの変化なども踏まえる必要。
- ・産業用の米を国産で確保することと自給飼料を増やすことに、北海道に大きな役割がある。
- ・飼料米の生産についてはフィードチェーンに課題がある。
- ・省力型の産業構造にしていくための、農業と食のイノベーションが必要。
- ・北海道は大規模経営や法人経営が多いが、今後は都府県もライバルになってくる。土地生産性の向上には、ICTの導入などが必要。
- ・ブランド化に資する高付加価値化・高品質化が必要。
- ・漢方薬の原料やワインの生産などが期待できる。日本酒も可能性がある。
- ・北海道農業の食品加工業との取引は各6地域の内部か道外相手が多く、6地域間の連携政策が必要。
- ・オランダのフードバレーのように、全産業を挙げて横断的に取り組めないか。
- ・人口減少により生産能力の余剰が生まれる。北海道産の食料が将来食料輸入国となった中国に売れる時代が来る。
- ・6次産業化は農家だけではできない。それよりは農商工連携が重要。異業種と一緒に話をする仕掛けが必要である。北海道のスイーツは可能性があるので、食品メーカーを巻き込んで取り組んでどうか。(コンサルタント)

② エネルギー安定供給

- ・戦後の北海道は石炭生産を通じ我が国のエネルギー供給を支えた。安定的なエネルギー需給構造の確立などが我が国の課題となる中、北海道はどのような役割を果たしていくべきか。

(有識者のご意見)

- ・本州への送電について打ち出していくべき。
- ・最大の再生可能エネルギーは水力であり、水力発電の能力をさらに高めることを考えるべき。
- ・北国である北海道において暖房エネルギーなどを地産地消していく方向性や、エネルギーを他の産業と組み合わせしていくという視点が重要。
- ・雪の冷房利用、冷蔵利用は、農産物の食味も増すなどの利点もあり各地で増えてきている。

③ 産業拠点の開発・成長期待産業の育成

- ・北海道開発においては日本経済の発展段階に応じ、資源開発に始まり、その経済的な構造改善を図りつつ、北海道の資源・特性を活かして、苫小牧等における産業拠点の開発や情報関連産業、バイオなどの成長期待産業の育成を進めてきた。
- ・日本経済が成熟し、我が国産業の持続的発展が課題となる中、北海道はどのような役割を果たしていくべきか。

(有識者のご意見)

- ・地政学的観点から見た北海道の強み(成長するアジアに近く、アジア・ヨーロッパ・アメリカを結ぶ国際物流ルートや国際交通網との関係における北海道の位置)を活かし、北の優位性を活かした構想を展開。
- ・中国から北米への輸送船のコンテナは、帰りは空である。このオペレーションセンターを北海道で展開することが考えられる。
- ・北方圏構想の取組が今こそ重要ではないか。
- ・首都圏への一極集中はリスクであり、民間企業にリスク分散の動きが出ている。北海道はバックアップ拠点など機能分散の受け皿としての役割が期待される。
- ・雪や寒さを強みとして、食料備蓄拠点や高付加価値製品のストックポイントをつくっていく。片荷の解消や物流コストの削減にもつながる。
- ・データセンターの立地では、寒さが強みとなるとともに、電力や情報インフラが必要。北海道で電力が安いという状況を作れば、様々な産業が立地するだろう。
- ・社会保障費の問題が重要になってくる中、新たな稼ぎ方のモデルを示せるか問われている。
- ・新しい時代には、どんな産業が必要で、北海道が強みを生かせるのかということを考える必要がある。
- ・北海道は北極海航路において地理的な優位性があり、鉄鉱石調達、工業製品の輸出、水産品の輸出入、LNGの受入基地などの可能性がある。(コンサルタント)

④ 観光・保養の拠点

- ・美しく雄大な自然環境を有する北海道は、観光・保養の主要な拠点としての役割を果たしてきた。観光立国の実現が我が国の課題となる中、北海道はどのような役割を果たしていくべきか。

(有識者のご意見)

- ・地域ブランドとしての北海道はダントツ1位である。観光にももっと力を発揮しなくてはならない。

⑤ 望ましい社会の実現に係る先駆的役割

- ・我が国の経済社会の動向を踏まえ、「生産と生活が調和する豊かな地域社会の先駆的実現」（第3期計画）、「地球環境時代を先導」（第7期計画）などが目指されてきた。今後期待される役割はあるか。

(有識者のご意見)

- ・縮小均衡論に落ち込むことなく、**未来志向の地方型の発展モデル**を提示していく。
- ・日本国民は心のゆたかさを求めており、北海道では**心のゆたかな暮らし**ができる。
- ・北海道の住みやすさを強みにするためには、雇用の場があることが重要。
- ・人口減少下にあって持続可能な地域づくりを進めることと、我が国への貢献が結びつくといよい。
- ・大都市圏の高齢者の問題が深刻。大都市の元気な高齢者に地方のボランティアの機会を提供し、地方との関係を元気づけながら構築してもらうことが考えられる。「交流人口」から「**連携人口**」と捉え直していく。
- ・北海道は**高齢化・過疎化が進んでいるので、それに応じたビジネスモデルを北海道発で示すことができる。**

(金融)

- ・アメリカでリタイアメントコミュニティ開発が進められている。札幌は食事がおいしく**単身赴任者に人気**があり有望な場所である。(コンサルタント)

2. 開発計画の振り返りや長期的視点から考える北海道開発の課題

(1) 北海道の発展基盤の整備

- ・これまでの開発計画において、交通ネットワーク整備や安全・安心な国土整備、北国の地域づくりなどに取り組んできた。
- ・これらを振り返り、また我が国の将来を長期的に展望し、今後どのようなことが課題となるか。

① 交通ネットワーク整備

- ・道路、青函トンネル・新幹線、港湾、空港などの基幹的な交通基盤の整備に一貫して取り組んできた。今後はどのような取組が課題となるか。

(有識者のご意見)

- ・北海道では**冬期のモビリティ確保、安全**が大きな課題。冬の問題を真剣に考えるべきであり、そうでなければ地域のマイナスイメージが払拭できず、移住者も増えない。しかも地球温暖化により道東は今後積雪量が増加する。まずは安全でかつ時間信頼性のある**高規格な道路**が基本。
- ・北海道は国際化が遅れており、**国際化をハード・ソフト両面で進めていく**べき。
- ・人の移動だけでなく、物流に関しても冬をもっと意識する必要がある。
- ・インフラを「使う」という視点。
- ・道路の整備・管理でインフラ・マネジメントの取組をしているが、**マーケティングの発想やユーザーの視点**が重要になってくる。ネーミングも工夫して展開していく。
- ・道路管理では、ローカルルールを新しい北海道モデルとして特区も目指して提案していくことが必要。
- ・物流は片荷輸送によるコスト増や、本州間で自動車輸送ができない点が課題。
- ・持続的な漁業を行っていく上で、生産から流通までの基盤が重要。海水温の影響で変化した水揚げの場所から加工場に運ぶため、**北海道内の物流ネットワーク**も重要になっている。

② 安全・安心な国土整備

- ・北海道では、昭和56年洪水、南西沖地震や十勝沖地震、十勝岳や有珠山の火山災害などの災害が発生しており、国土保全施設の整備や防災体制の強化を推進してきた。今後はどのような取組が課題となるか。

(有識者のご意見)

- ・広域分散であることは、災害で全体がやられることがないという利点がある。
- ・自立した地域が分散している状態が、災害に対するレジリエンスの観点から理想像となるだろう。
- ・大きな被害が起こってからではじめて対策が打たれる現状は問題。
- ・災害発生時と同様の状況を作り出す（停電の日等）など、意識喚起やコミュニティ形成に資する仕掛けも必要。
- ・除雪ボランティアの受入れは、地域防災の契機となっている。
- ・防災拠点として道の駅を活用していくため、マンパワーや機材の課題に取り組む必要がある。指定管理者が管理しているため、採算重視になっていることも課題。コンビニも防災拠点として期待できる。

③ 北国の地域づくり

- ・ふゆトピア（第5期～第6期計画）、札幌都心部の地下空間の活用など冬も暮らしやすい生活環境づくりや積雪寒冷地特有の課題に対応した技術開発に取り組んできた。今後はどのような取組が課題となるか。

(有識者のご意見)

- ・高齢化・過疎化に起因して雪害が増えている。除雪ボランティア「雪かき道場」は、日本海側と太平洋側の交流の一つのチャンネルになっている。視点を変えれば雪そのものがブランド価値を持っている。
- ・企業の研修への活用やボランティアツーリズムの需要拡大により、北海道の「雪はねツアー」も拡大している。都市と地方の交流関係に単に観光ではない動きが生まれている。
- ・EV（電気自動車）では一日に200キロ位走るような北海道の観光行動特性も踏まえた充電器整備が課題。
- ・雪に埋まった際に車から位置を発信する機能が北海道らしいEVの機能として期待される。
- ・EVやITSなど、新しい車両開発技術を北海道発でやっていくことは重要。

(2) 人口減少に対する対応

- ・北海道においては、急激な人口減少が進展すると予測されているが、それに対し、どのように対応し、どのような姿を目指していくべきか。例えば以下の観点についてどう考えるか。

○都市機能の集積・分担や広域的な交流・連携、農村地域の維持など、将来の地域構造をどうイメージしていくか。

○外部人材の活用や人材育成など、北海道に期待される役割を果たすための人材確保

(有識者のご意見)

- ・農業の大規模化やアウトソーシングによる構造改革により農家が少なくなるため、コミュニティが守れなくなることが危惧される。都市がコンパクトシティとなったとき、残された農村はどうなるのか考えていく必要がある。

- ・農業地域を維持するためには幅広い産業が必要。
- ・農山漁村活性化は都市農村交流からビジネス指向へととなっている。
- ・都市と農村、北海道内の地域間の連携を含め、**連携**がキーワードになる。
- ・人を**集積**する観点で、農村や土地利用について議論していくことが重要。地域の人々に理解を得ながら、行政が計画的に誘導していくことも必要ではないか。
- ・人が住まない集落が出てくる。国土の保全や環境の管理について議論していかないといけない。
- ・北海道農業の食品加工業との取引は各6地域の内部か道外相手が多く、**6地域間の連携政策**が必要。(再掲)
- ・女性・若い人・高齢者の活用が重要。
- ・北海道に関する身近なことについての知識が浸透していない現状があり、**学生の教育**が必要。
- ・北海道開発に関心を持つ**留学生**が増加傾向にあり、国内他地域と違った魅力をPRできるのではないか。
- ・北海道の景観は人材も惹きつけている。
- ・出生率が低いのは北海道の弱みである。全国に先駆けて北海道がまずはV字回復することが必要ではないか。
- ・地域おこし協力隊は、若者が定住する一つの仕組みとして動き出している。

3. 将来展望や課題に対する取組戦略

- ・これまで、第3期計画の先導的開発事業の推進や、第5期計画の重層ネットワーク構造の形成と都市田園複合コミュニティの展開、第7期計画の多様な連携・協働、新たな北海道イニシアティブの発揮などの戦略等により、計画が推進されてきた。
- ・また、ニューカントリーやシーニックバイウェイ北海道など住民や民間団体等による地域づくりと開発体制による支援の仕組みづくりや、ツール・ド・北海道、国際輸送プラットフォーム(HOP)など北海道の魅力を海外も含め発信する独自の取組が行われてきた。
- ・これらを振り返り、1. の北海道開発の将来像の実現や2. (1)(2)の課題に対して、どのような戦略で取り組んでいくべきか。

(有識者のご意見)

- ・現場のリアリティやスピード感をどんどん取り込んで実施していく視点が必要。
- ・成長センターとなる都市は民間が主導すればよいが、それ以外は計画していく必要。
- ・基盤整備については、地域において柔軟に実行できることが必要。
- ・同じ区域に国の機関と道県が存在する北海道と沖縄は行政システムも特徴的であり、これがモデルとなるのではないか。高齢化するインフラ対策についても、地方では技術職員が少ないという現状を踏まえ、北海道から新しいモデルができれば良い。
- ・道路管理では、ローカルルールを新しい北海道モデルとして特区も目指して提案していくことが必要。(再掲)
- ・人づくりや連携・協働について議論してもいいのではないか。
- ・連携が成立するには、個が確立している必要がある。
- ・シーニックバイウェイやマリナビジョンの推進は、地域づくりや人づくりに大きく貢献している。
- ・HOPのような、民間企業も参画した、計画推進をマネジメントしていく持続的な組織体制が必要。